

フレンズ 第24号

特別養護老人ホーム
 短期入所生活介護事業
 通所介護事業（4カ所）
 認知症対応型通所介護事業（2カ所）

発行日 平成22年8月25日
 居宅介護支援事業（2カ所）
 地域包括支援センター（2カ所）
 （世田谷区委託/介護予防支援事業）

従来型特養フレンズホームは終の棲家

—「より良き生」と「より良き死」を支える—

統括施設長 飯田能子

ハイライト

○巻頭言

従来型特養フレンズホーム
 は終の棲家
 -「より良い生」と「より良き死」を支える-

○フレンズホーム

新型特養（全室個室・ユニット型）が制度化されて7年が経過した。従来型の新設を認めない、とする厚生労働省の方針が、ここにきて揺らぎ始めている。その一つの現れは、都道府県の判断で新設にも多床室併設を認める自治体が増えていること、もう一つには、厚労省が個室ユニット型の面積基準（13.2平米）を、多床室の一人当たり面積と同水準の10.65平米に引き下げる省令改正案を給付分科会に諮問したことである。

この背景には、用地確保が困難な大都市では、個室ユニット型は収容力の面で待機者解消にはつながりにくく、ホテルコストを含む高い利用者負担額は低所得者を排除しているという問題がある。相部屋中心の、病院のような建物を、住まいに近づけようと考案されたものが個室ユニット型であるから、厚労省の最近の動きに対して、「あなたは雑居部屋で老いたいですか」と呼びかけた市民集会や新聞の評論など、反対派の動きが活発である。

雑居部屋には、個室以外は人間としての尊厳が保障されない、というニュアンスがある。フレンズホームは、4人部屋が14室、2人部屋が5室、個室はわずか5室の従来型特養である。入居者の平均要介護度は4.17で、要介護度4、5が全体の72%を占めている。他人同士が自立した個人を想定したプライバシーの保護の重要性と、要介護度4、5に求められるプライバシーの重要性は同一線上で議論することは困難だろう。入居者の状態像や容態の変化に対応しながら、フレンズホームは個室と多床室を使い分けている。

築20年になるホームは、7年前に多床室に家具風のパーティションを取り付け、スタッフルームの一部をリビングに改修し、広い廊下にテレビのコーナーや、折りたためるテーブルを取り付け、個人が選べる居場所を仕掛けてきた。居住スペースの清潔さは、福祉サービス第三者評価でも折り紙つきだ。裏階段の明かり取りには、ハウスキーピングの職員が季節ごとに小物を飾っている。豪華なロビーはないけれど、生け花が来館者を迎え、地域のボランティアさんの笑い声で満たされる。

フレンズホームは、高齢者ソフト食と檜風呂の個浴という2本の柱に支えられて、自立支援に向けた介護と介護人材の育成・研修の強化に大きく舵を切ることができた。従来型で実現している生活の諸相は、本号の特集記事でご覧いただくとして、一つだけ言及しておきたいことがある。フレンズホームは、いま、人間として尊厳ある死を実現する看取りケアに取り組んでいる。尊厳を維持した生き方を拒否された高齢者が、全国の特養ホームのベッドを占有している。この現実こそ、私たちが真に向き合うべき課題である。個室ユニット型でなくとも、看取りに対応できる静養室や2人部屋があればよい。地域のセーフティネットとしての福祉の機能を備えた特養ホームは、決して居室のあり方のみで議論すべきではないのである。

目次:

巻頭言	
従来型特養フレンズホーム は終の棲家	1
特集	
フレンズホーム	2
連載	
地域の絆 ②	4

フレンズホームの1日

24時間365日の絶え間ないサービスの中で、笑顔が溢れています。

7:00 起床
朝食



お花は大好きなの。かわいいわねえ



生け花

10:00

合築のおともだち保育園から子ども達が遊びにきました。

12:00 昼食



フレンズ喫茶 (3F 食堂)



15:00 おやつ



駒沢大学のボランティアさんと楽しくケーキ作り

18:00 夕食



傾聴ボランティア

21:00 就寝



ボランティアさんと三味線の音に合わせて、昔懐かしい歌謡曲を熱唱します。

夕食前に皆さんそろって嚥下体操

年間行事

お花見
梅酒作り

夏祭り
かき氷パーティ
ビアガーデン

敬老会
秋の外出
フレンズ祭り

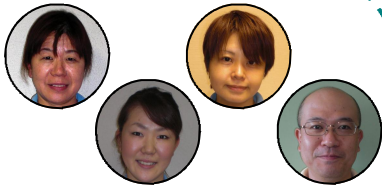
クリスマス
忘年会
新年祝賀会
豆まき



屋上ビア



介護職員



私達は、多職種と協働し、お年寄りに安心して過ごして頂けるよう日々努めています。

今年度は大卒の新入職員を6名迎え、ペアを組んだ先輩職員が、一年の間1対1で指導をするチューター制を導入しました。また、新たに介護技術の向上を目的とした検定試験制や看取りの勉強会の開催等、最後までお年寄りが生活の主人公になれるような施設を目指しています。

看護師



入居の皆様の健康管理を担当しています。

高齢化が進み、お元気に見える方でも、たくさんの病気を抱えています。病状を観察し、嘱託医師や、時にはご家族に相談しながら、悪化を出来るだけ防いでいこうと思っています。何かの痛みや病気による苦痛があった時に、気軽に相談して頂けるような雰囲気も大切にしていきたいと思っています。

管理栄養士



最期の時まで、口から普通に食事を召し上がって頂きたいという思いから、高齢者ソフト食を導入し、刻み食の廃止を実現しました。

食事形態の種類は、常食・ソフト1・2・3・ミキサー寒天食の5種類です。個々の嚥下機能にあった食事形態と食事で、無理なく美味しく食事をして頂きたいと思えます。また、介護職の嚥下の理解と、食事介助技術の向上に力を注いでいます。

生

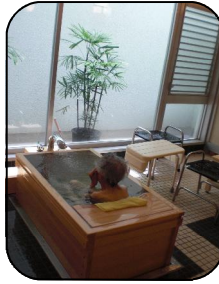


入所時の様子の把握に丁寧に対応しています。ごいでもあて、もうすまた、たティアの方す。そのコ事のひとつホームで心して楽しんで頑張り

施設職員紹介

個浴

フレンズホーム開設20周年事業の一つとして、お風呂の改修がありました。大浴槽から、檜の香りが漂う家庭サイズの浴槽が2つと、座ったまま入れる機械式の浴槽1つに生まれ変わりました。この檜の浴槽に入る事は、昔の感覚を思い出し、何よりもお年寄りと職員の笑顔を生み出しました。現在、35名の方が個浴で入浴をしています。私達は技術を磨き、一人でもたくさんのお年寄りを個浴に入れて差し上げたいと思っています。



夏祭り



ガーデン



新年祝賀会では恒例の獅子舞訪問

高齢者ソフト食

歳をとっても、嚥下障害があっても、食を諦めない。ご自分の食事と前に座っているお年寄りの食事が同じに見えるように、そして何より美味しく見える、食べたいと思える食事。きちんと形があって、舌で容易に潰す事が出来る、飲み込みやすい。大好きなお寿司も食べる事ができます。是非一度、お年寄りの食事をご覧ください。



看取り

昨年度、100歳を超えるお二人の方が、最期をホームで迎えられました。安楽で安寧な数カ月はお家族や私達にお別れの準備と覚悟をさせるために用意して下さった時間であったと今、思います。お二人とも最期まで口から食べ、お風呂にも入り、普段と変わらない日に旅立たれました。長い間、お世話したお年寄りを、ご家族と共にホームで穏やかに看取りたいと強く思っています。



生活相談員



の契約に始まり、生活の握り、様々な相談にも心をこめてお応えすることを心掛けてお応えさせていただきます。お家族とホームを繋ぐパブリック、ホーム便りを担当させていただきます。お一人お一人の地域でのボランティア活動に支えられています。コーディネイトも重要な仕事です。お暮らしのお年寄りが、安心して生活できるように、お応えいたします。

ケアマネジャー



ケアプランの作成とその評価をし、ご家族には、ケース会議で定期的にケアプランの説明をさせて頂いています。その人らしい生活を送るためにどんなサービスを提供したらいいのか、また思いに応えるにはどうしたらいいのかを、常に考えています。お年寄りの主体性や自立性を支え、フレンズのケアが活かせるようなプランを作っていきます。

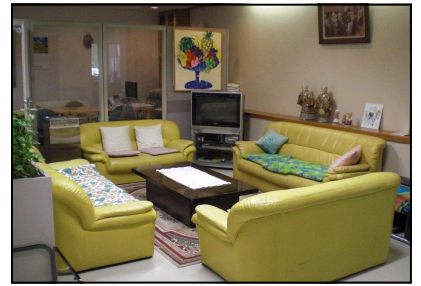
ハウスキーパー



お年寄りが、毎日気持ち良くホームで生活出来るように、お掃除や衣類の洗濯を担当しています。掃除で居室にお邪魔する時に小さな花を飾ったり、お水を換えたり、少しでも喜んで頂きたい。また、お手伝いする事が無いかな、声をかけます。洗濯物もほつれを直したり、月に1回は漂白し、いつもきれいな物を着て頂きたいと思っています。

各階案内

1階



落ち着いた雰囲気のリビー

2階



パーティションで仕切った4人部屋

3階



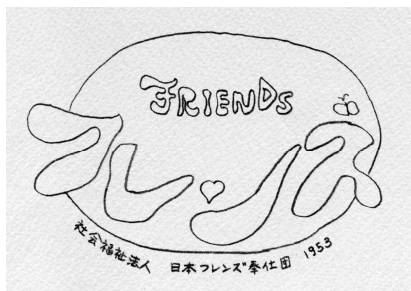
廊下に設置された折りたたみ式の丸テーブルで

4階



ダイニング
式典や行事、職員会議等にも使用します。

〒154-0002
世田谷区下馬2-21-11
電話 03 (3422) 7211
Fax 03 (3422) 7227
Email info@n-friends.or.jp



であい・ふれあい
地域のささえあい

ホームページもご覧下さい。
<http://www.n-friends.or.jp/>

- 世田谷区下馬2-21-11 TEL 3422-7211(代)
フレンズホーム
フレンズケアセンター・認知症デイ「くつろぎ」
下馬あんしんすこやかセンター
- 世田谷区三軒茶屋2-32-14 TEL 5486-6262
デイ・ホーム三茶
フレンズ三軒茶屋介護保険サービス
- 世田谷区上馬4-36-9 TEL 5430-8050
デイ・ホーム上馬
上馬あんしんすこやかセンター
- 世田谷区野沢3-25-10 TEL 5486-7400
デイ・ホーム中丸・認知症デイ「ひだまり」
フレンズ介護保険サービス

編集後記

もしも、肉親が特養に入居することになったら、その暮らしの変化や家族と離れることに、安堵と不安を感じるかもしれません。そんな時、この「フレンズ24号」を手にとってください。家族の事情で在宅復帰が叶わなくとも、ホームの生活は思いのほか社会に開かれています。心身ともに少しずつ不自由になっていく現実を、たくさんの職種が支えています。65名のお年寄りが、笑ったり、時には怒ったり、生きているという実感を紙面で感じ取っていただければ、編集子の望外の幸せです。

終の棲家としての特養、それは新しい人生の始まりです。

=連載= リレーエッセイ 地域の絆 ②

デイホーム三茶は、ご近所に世田谷警察、真裏に世田谷消防署、そして周りのごく普通の住宅という立地にあります。あまり広いとは言えないデイルームですが、その分、家庭的ですぐに手を繋げるような温かい雰囲気を持っています。

毎日、元気にお年寄りをお迎えし、活動も様々です。ボランティアを積極的に受け入れ、フラダンス・保育園園児さん達との交流・ご近所の銭湯のご主人達で結成する「銭湯ダンナーズ」の民謡など、地域の中にあるデイホームであることを大事にしています。先日、世田谷警察の婦警さんが、腹話術を使った出張講座『高齢者のための交通安全』を開いて下さいました。道路を歩いている時にすぐ後ろに自転車がいって怖かった話など、日ごろのひやっとしたことが話にでました。若い人が高齢者を大切にする街をつくりたいですねって頂きました。

お年寄りが下町情緒残る三軒茶屋で、たくさんの方々に支えられながら、地域の一員として暮らし、そして元気にデイホームに通って頂きたいと思っています。

お知らせ

フレンズ祭りを今年も開催します。

日時：平成22年10月31日(日)10:00～14:00

場所：フレンズホーム（下馬2-21-11）

恒例のバザーを始め、傘修理や足裏マッサージ、布草履作り、模擬店などの催しを企画しています。
みなさまのお越しをお待ちしています。

◆献品をお願い致します。雑貨、食器、タオル・シーツ類、食品で、新品・または未開封のものをお願い致します。